

仮封・歯髄覆罩剤

ネオダイン[®] 粉末
ネオダイン[®] 液NEODYNE[®]

貯 法：光を避けて室温で保管すること。
使用期限：外箱及びラベルに表示の使用期限内に使用すること。

| | |
|-------|---|
| 承認番号 | 粉末 13513KUZO8669007 液 13513KUZO8669008 |
| 保険適用 | 1953年 4月 |
| 販売開始 | 1953年 4月 |
| 再評価結果 | 1988年 6月 |

【組成・性状】

1. 組成

粉末 100 g 中に次の成分を含有する。

| | | |
|--------|----------|------|
| 〈有効成分〉 | 酸化亜鉛 | 60 g |
| 〈添加物〉 | ロジン | |
| | 水酸化カルシウム | |
| | 酢酸亜鉛 | |

液 100 mL 中に次の成分を含有する。

| | | |
|--------|--------|--------|
| 〈有効成分〉 | ユージノール | 100 mL |
|--------|--------|--------|

2. 製剤の性状

粉末：微黄白色の粉末で、かすかにロジンのにおいがある。

液：無色～淡黄褐色澄明の液で、特異な芳香がある。

【効能・効果】

歯髄の鎮痛、鎮静及び象牙質の消毒を兼ねた仮封、歯髄覆罩

【用法・用量】

セメント練板上にて粉末と液剤を練和し、パスタ状として用いる。

【使用上の注意】*

1. 副作用

過敏症（頻度不明）

過敏症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な処置を行うこと。

2. 適用上の注意

- 軟組織に対し局所作用を現すおそれがあるので、口腔粘膜等に付着させないよう配慮すること。
- 軟組織に付着した場合には、直ちに清拭し、消毒用エタノール、グリセリン、植物油等で清拭するか、又は多量の水で洗うなど適切な処置を行うこと。
また、手指等に付着した場合には、石けん等を用いて水又は温湯で洗浄すること。
万一眼に入った場合には、直ちに多量の水で洗浄する等の適切な処置を行うこと。
- 歯科用にのみ使用すること。

* 3. その他の注意

急性毒性（練和物）⁷⁾ラット (Wistar ♂) 経口 LD₅₀ > 15 g/kg【臨床成績】¹⁾

| 適 用 | 症例数 | 成 績 | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|
| | | 良 好 | 概 良 | 不 良 |
| 歯髄鎮痛・鎮静 | 195 | 189 | 4 | 2 |
| 間接歯髄覆罩 | 106 | 104 | 2 | 0 |

【薬効薬理】

＜薬理作用＞

本剤の歯髄鎮痛・鎮静作用と消毒作用は、ユージノールによるものであり¹⁾⁴⁾、ユージノールのフェノール係数は3.3である⁶⁾。本剤の硬化物を用いての細菌発育阻止試験では、*Staphylococcus aureus*、*Enterobacter cloacae*、*Escherichia coli* に対して持続的な細菌発育阻止帯を認めた⁴⁾。

＜封鎖性＞

本剤をガラス管内に封塞し、色素液中に懸垂した場合、4～7日間色素の浸透を認めない²⁾³⁾⁴⁾。また、無水硫酸銅を用いたガラス管による水密性試験においても7日間にわたって完全な水密性を示した⁵⁾。

【有効成分に関する理化学的知見】^{8) *}

1. 一般名：酸化亜鉛 (Zinc Oxide)

化学名：Zinc oxide

* 分子式：ZnO (分子量：81.41)

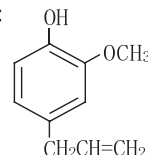
性 状：本品は白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。本品は水、エタノール (95)、酢酸 (100) 又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は希塩酸又は水酸化ナトリウム試液に溶ける。本品は空気中で徐々に二酸化炭素を吸収する。

2. 一般名：ユージノール(オイゲノール) (Eugenol)

化学名：2-Methoxy-4-(2-propenyl)phenol

分子式：C₁₀H₁₂O₂ (分子量：164.20)

構造式：



* 性 状：本品は無色～淡黄褐色澄明の液で、特異な芳香がある。本品はエタノール (99.5)、ジエチルエーテルと混和する。本品は水に溶けにくい。

【包 装】**

1. 粉末 50g

** 2. 液 10mL

【主要文献】*

- 1) 関根永滋, 森本 優, 鈴木 繁, 北野晋一: 亜鉛華ユー
ジノールセメント (Neodyne) の歯髄鎮痛, 鎮静並
びに間接歯髄覆罩効果について,
歯科学報, 53(7), 34 ~ 38, 1953.
- 2) 関根永滋, 西條征男, 鈴木 繁, 北野晋一: 亜鉛華ユー
ジノールセメント (ネオダイン) の仮封効果につい
て,
歯科学報, 53(9), 22 ~ 27, 1953.
- 3) 北野晋一, 駒橋 武, 松山茂樹, 鈴木 繁, 武石義弘,
平山浄二: 亜鉛華ユージノールセメントの封鎖性に
関する基礎実験,
歯科学報, 58(10), 33 ~ 35, 1958.
- 4) 関根永滋, 服部玄門, 花岡十弘, 堀江英二, 島田弘量,
松山茂樹: 各種亜鉛華ユージノール製剤の殺菌効果
について,
歯科学報, 61(8), 1 ~ 6, 1961.
- 5) 江藤治鑑: 仮封材に関する研究, とくに各種酸化亜
鉛ユージノールセメントの封鎖効果について,
歯科医学, 38(3), 250 ~ 266, 1975.
- * 6) 社内資料: 田畑喜作, 上田貞善: ユージノール (ネ
オダイン液) のフェノール系数 (1976).
- * 7) 社内資料: 前橋 浩: ネオダインのラットを用いた
急性経口毒性試験 (1976).
- * 8) 第十五改正日本薬局方解説書 (2006).

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求
下さい。

請 求 先: ネオ製薬工業株式会社 学術情報部
住 所: 〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-1-3
ホームページ: <http://www.neo-dental.com/>
フリーダイヤル: ☎ 0120-07-3768

製造販売元



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel. (03) 3400-3768(代) Fax. (03) 3499-0613